

## 本町の観光事業対策の

### 取り組みは



久保 克己議員

**久保克己議員** 四月に県立北薩広域公園も一部開園し、天候のすくれないなか、町内外の多くの観光客で賑やかな日々が続いた。地域振興策として観光が注目を集め、経済や地域振興の柱を観光にしようという動きが最近目立っている。本町でも北薩広域公園を軸に展開する観光ネットワークの創造として、魅力ある観光づくり・関連産業と地域興し等で観光振興を目指しているが、平成十一年度から十三年度までの観光目的で来町された集客数・宮之城温泉入湯・宿泊客数・スポーツ合宿団体数等の状況は。

**北村町長** 観光を取り巻く情

勢は、県内外外を含め、観光客のニーズの個性化・多様化、旅行形態の小グループ化とともに、長期景気低迷による消費の冷え込みなどで、年々減少傾向にある。経済の低成長と共に、「安・近・短」志向が高まり、本物志向の傾向。近隣市町の施設整備による観光地間の激化、大変厳しい状況下にある。県の観光統計による観光地点である伝統工芸センターの入込み数は、平成十一年度三五、六八四人、十二年度三四、二七七人、十三年度三二、九七九人となっている。宮之城温泉の宿泊客数は、平成十一年度二二、八九三人、十二年度二二、〇九三人、十三年度一七、四八八人、スポーツ合宿によるコンベンションの入込み数は、平成十一年度が百十四校で二、五五一人、十二年度が九三校で二、一三四人、十三年度が九二校で二、一〇六人と年々減少傾向にある。



宮之城温泉街と歓迎モニュメント

### 宮之城温泉に昔の賑やかさを

**久保議員** 宮之城温泉は、数年前は賑やかな温泉街であった。事業者の自助努力や知恵を絞っての経営取り組みがなされてきているが、思うように集客力もなく寂しさを感じる。今後における観光施設の整備等、温泉街の形成の取り組みは。

**町長** 温泉への入込みを図るには、温泉街らしい街並み・環境づくり施設整備などや観光プラン企画、旅館等の自助努力としての接遇、料理講習会等自主的な取り組みを行い、消費者ニーズに対応した受入れ態勢づくりに努めているところである。

### 幼児教育と保育所の経営は

**久保議員** 社協に委託され、合理化がなされた山崎保育所の委託前と現在の経済効果はどうか。また、佐志保育所の今後の経済効果見直しなどは。さらに、学童保育充実の取り組み状況は。

**町長** 山崎保育所を平成十二年度、佐志保育所を平成十四年度から町社協へ委託した。順調な運営がなされており、感謝している。

山崎保育所の運営委託の経済効果としては、平成十三年度で約八〇〇万円が合理化で節減出来たと考える。佐志保育所の今後の見直しは、園児数が平成十一年度六〇人をピークに減少傾向にあるが、十四年度の試算運営見込みとしては、直営であった前年度と比較して、約八〇〇万円の節減ができるのではないかと考えている。

故譲後児童健全育成事業では、昨年同様、山崎小児童の保護者に対し、啓発活動を続けるとともに、本年は進歩小に、実施の受け皿となる「児童クラブ」設立の作業を進めている。町内の対象児童全員が利用できるよう調査と研究を進めていきたい。